



294人が参加した「2010国民春闘討論集会」。要求一交渉一妥結のサイクル確立の重要性が繰り返された=1月8日、自治労会館

自治労北海道

anniversary

ホームページ 5周年



自治労北海道



もうすぐ2000号

ホームページ自治労北海道は、2005年1月6日の公開から5年が経過しました。2006年9月に組員専用ページを追加し、さまざま改

善を経て5年、これからも組員の皆さんに、迅速な情報の提供を心がけていきます。皆さまから

お寄せください。

機関紙「自治労北海道」は、47年を経て2010年度中にあと9号で記念すべき2000号に達成する。

1000号に達成したのは今から31年前の1979年1月21日。当時執行委員長だった森尾昇さんは、1

000号にあたり「組織づくりや運動をする上で特別な手段や方法はない。むしろ必要なことは、大衆に、どう今日の政治、経済、社会などの情勢、資本に！」

※2000号を記念して、特集号に掲載するさまざまな企画（投稿記事、携帯写メ、メール投稿やプレゼントなど）を検討中。お楽しみ

機関紙「自治労北海道」は、47年を経て2010年

度中にあと9号で記念すべ

き2000号に達成する。

は、中央本部松本敏之総合労働局長が、「2010年労働春闘方針」と公務員制度改革についてと題し講演した。引き続き成川秀明連合総研客員研究員が、基調講演Ⅱ「日本労働者生活の現状と今後の賃金改善闘争の課題」について講演した。

その後、櫛部賃金労働部長が道本部提起をして、全体討論を行った。

2日目は、2つのコースに分かれ、1「討論コース」、2「学習コース」(2-A～2-C)。それ

ぞれの課題で討議した。詳細は2～3面を参

独自削減幅の圧縮・両立支援の充実求め

地公三者（議長・出村良平・全道厅・北教組・自治労本部）は、賃金確定闘争の継続課題について、1月27日を山場とするたかに全力をあげる。

月27日を山場とするたかに全力をあげる。

1
27(水)
山場

地公三者

本号の紙面

2～3面

- ・2010国民春闘討論集会
- ・女性の働く権利確立運動強化月間

4面

- ・男女がともに担う自治労北海道推進委員会
- ・職場だより「士別市職労」
- ・映画「おとうと」チケットプレゼント

現場の視点で地方分権を進めます

- ・自治労組織内参議院比例代表予定候補

えさきたかし

2010
国民春闘討論集会

しつかり要求書提出



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 谷川 広美

今年、道本部は2つの記念日が集中する。ホームページ(以下HP)は5周年記念。機関紙「自治労北海道」は、あと9号で記念すべき2000号発行日を迎える。先輩たちのためのみならぬ努力に敬意を表さないわけにはいかない。現在、

朔 風

機関紙編集人は歴代19人目。HP編集人は3人目。HPの歴史は浅いが、試行錯誤ではや5年、Web時代にむきあい、長年継続して続すると同時に、ますます組合員に迅速な情報発信に努めたい。

道本部は、1月8日、9日の両日、自治労会館で「2010国民春闘討論集会」を開き、122単組・総支部、294人(男性261人、女性33人)が参加した。土曜日を含めた日程設定となつたが昨年より参加者が増えた。

今集会では、春闘段階からしっかりと要求書を提出し、交渉を強化することが確認された。冒頭、山上委員長は、昨年1年間の地本・単組・総支部における組合員のたたかいに感謝の言葉を述べた。その上で、「我々は大変厳しい道内

経済の下で2010春闘を闘うことになる。春闘アンケートの結果からみても生活悪化の状態の固定化がうかがえる。この春闘を契機に改めて正規、非正規を問わずに労働者総体の賃金、労働条件を改善していき、連合・自治労がめざす労働

を実現をはかつていかなればならない」と述べた。そこで、「労働協約締結権の付与の議論が進められており、政権交代により争議権の付与の問題も惹起してきており。いずれにせよ人効体制からの脱

却がはからることは間違いない。単組・総支部の闘争態勢の確立、交渉力を一層高めていくことを早急に進めていかなくてはならない」と述べた。

さらに、政治情勢について「自らの闘いによってつくりあげた現政権をしっかり支え、発展させていくという立場にこれからも立ち続けたい。地方財政の確立、医療・福祉など、これらの前進に

1日目の基調講演Ⅰ

選挙では政権の基盤をしっかりとさせ、自治労の政治的影響力を保つ意味でも、重要なたたかいに内・協力予定候補の「えさきたかし」の圧倒的勝利をなんとしても勝ち取ろう」と決意を述べ参加者に訴えた。

2日目は、2つのコースに分かれ、1「討論コ

ース」、2「学習コース」(2-A～2-C)。それ

ぞれの課題で討議した。

詳細は2～3面を参

照。

2日目は、2つのコースに分かれ、1「討論コ

ース」、2「学習コース」(2-A～2-C)。それ

ぞれの課題で討議した。

詳細は2～3面を参

【上川地方本部】昨年12月9日に開催した、「土別市職労クリスマスパーティー」を紹介します。

交流を深める中からさらなる「団結」をめざし、30年近くにわたり開催している市職労の恒例イベントです。毎年、組合員やその家族をはじめ、消防協、臨時・非常勤など多くの仲間が集まり、今年も350人を超える参加がありました。

会場には、各専門部やゲームコーナーなどが設置され、どのコーナーも賑わい、特に、時間をかけて仕込む青年女性部の活動です。反戦・平和運動の大

交流深め「団結」めざす



職場だより



350人を超える参加者で、団結が深まった=12月9日、土別市



「ヒロシマ体験学習」の報告をする子どもたち

切さを参加者全体で確認

義なイベントです。

(土別市職労・書記長
坂本 英樹)

改正育児・介護休業法Q&A

ホームページ「自治労北海道」で見ることができます

国が今年6月30日から施行する改正育児・介護休業法のQ&Aを連合が作成しました。道本部のホームページ【单組・組合員専用】ページの「1月7日」に載っています。

★「ユーザー名」=hokkaido
★「パスワード」=jichi2009

Yシャツのクリーニングは駅の地下にある店舗を利用しているが、最近、やっと迷わずにいるようになつた。さらに、地下に降りた場所と同じ場所から出れるようにもなつた。

一步一步、進んでいくことで、目的地にたどりつけるし、その繰り返しで、人は成長をする。

（牧野 長武）

忙中余話

早いもので札幌に来て、約4カ月が過ぎた。実は私は、方向音痴で、札幌駅の地下には大苦戦をしている。Yシャツのクリーニングは駅の地下にある店舗を利用しているが、最近、やっと迷わず迷わずにいるようになつた。さらに、地下に降りた場所と同じ場所から出れるようにもなつた。

一步一步、進んでいくことで、目的地にたどりつけるし、その繰り返しで、人は成長をする。

女性参画にむけて今、これから…

男女がともに担う自治労北海道推進委員会



地本と道本部推進委員会の連携強化をめざす=12月22日、札幌市・自治労会館

道本部は、12月22日自治労会館で第1回男女がともに担う自治労北海道推進委員会を開いた。委員会は、藤盛道本部副執行委員長を推進委員長として、委員の男女構成比を女性50%以上となるように、旧選挙区単位選出の組織強化委員と道本部執行委員で構成している。

今回、今年度初の委員会であることから委員会の現状と課題を把握し、計画推進指導の強化④セミナーなどを、全道で統一した運動の提起⑤地本と道本部推進委員会の現状と課題を洗い出し、運動に反映させることとした。道本部補助機関等組織の女性参画にむけた現状と課題を洗い出し、運動に反映させることとした。道本部補助機関等組織の女性参画にむけた現状と課題を洗い出し、運動に反映させることとした。

会の任務など6点について議論を行った。①現在進行中の第三次計画の中間総括を行い、後期2力

進委員会の連携強化⑥本部の第三次計画総括と第4次計画策定に意見反映

することを確認した。

今後委員会は、道本部

に担う自治労北海道計画の策定と実践を通じて道本部自らが改革をすめることで、「男は仕事、女は家庭」という性別役割から女性も男性も平等に仕事をし、とともに家事・育児などの家庭的責任を負うことのできる社会へ転換することが求められています。エンゼルプランや男女雇用機会均等法の制度・政策等にまだ多くの課題が残るなかで、労働組合の担い手としての女性の参画の拡大はこれから労働運動にとって極めて重要な課題であり、労働組合自身も男女共通の課題として実態と意識を変えてい

くことが必要です。

道本部は「男女がともに担う自治労北海道計画」の理念

することを確認した。

毎回開催することを確認し、次回以降具体的な議論をすることとした。

性別役割からの脱却

男女がともに担う
自治労北海道計画の理念

機関会議への男女平等参画

単組・道本部における代議員などは2012年9月までに20%以上の女性の参画を計画的に実現します

みねさん
峰崎直樹の
国会だより
(2)



JAL問題、国民が納得の解決策に予算がようやく年内編成を終えたのもつかの間、JAL問題が一気に風雲急を告げてきた。昨年9月に鳩山政権になるや否や、タスクフォースを立ち上げたものの、結局企業再建の野党時代からJALの問題を追及してきただけに、今度のJAL問題に再建こそ正念場となる。ぜひとも、国民の目線から見て納得してもらえる解決策で、かつ必要な財源を最も少なくしなければならない。もちろん、安全に運行し続けることも不可欠だ。（1月10日、東京）

映画「おとうと」チケットプレゼント

映画「おとうと」のペアチケットを5人プレゼントします。ホームページ上の「道本部へのメール」が、道本部FAX(011-700-12053)に単組名・名前・連絡先を記入し送ってください。(2月4日必着)

1月30日から公開

詳しくは、道本部HPで!